

調査票の主な変更点について

(1) 一般高齢者個別調査票

設問番号	ご意見	修正内容
<調査の前に>	—	選択肢「2.受けていない」の後ろへ、(要支援・要介護認定を申請中の方を含みます)を追加した。
問6	—	選択肢「10.特に心がけていることはない」を、設問文に合わせて「特に実践していることはない」とした。
問14(1)	(推進委員会) 嚥下機能は難しいので、説明を追加してはどうか。	いただいたご意見を参考に、選択肢「5.歯科保健講座」の説明における嚥下機能の後ろへ、〔のみこみ〕を追加した。
	—	選択肢「12.どれも参加したことがない」を、「参加している事業はない」とした。
問14(2)	—	選択肢「12.どれも参加したくない(できない)」を、「参加したい(参加し続けたい)事業はない」とした。
問14-1	—	選択肢「4.メニューに興味がないから」を、「介護予防事業に興味がないから」とした。
問20	—	選択肢「1.いる」「2.いない」を、設問文に合わせて、「いる(ある)」「いない(ない)」とした。
問20-1	—	選択肢番号の重複を修正した。
問28	(連絡調整会議) かかりつけ医の定義は何か。	予め定義しておくことも考慮したが、まずは市民がどう考えているかを把握する目的から、かかりつけ医が「1.ある」と回答した方に、どの医療機関をかかりつけ医と考えているかをたずねることとした。
問29-2	—	回答すべき人が迷わないように、設問の下部へ、次に進むべき場所を明記した。
問34-1	—	選択肢「1.市(高齢福祉介護課・障害福祉課)」で、課の表記順序を、障害福祉課・高齢福祉介護課へと入れ替えた。
	(推進委員会) 「4.社会福祉協議会」とあるが、社会福祉協議会だけなのか、地区社会福祉協議会を含むのか。	選択肢「5.地区社会福祉協議会」と明記した。

設問番号	ご意見	修正内容
問37	—	選択肢「1. 手すりが無く使いにくい」を、「必要なところに手すりが無い」とした。
	—	選択肢「2. トイレやお風呂が居室から離れている」を、「トイレや浴室が居室から離れている」とした。
	—	選択肢「6. 部屋が狭くてベッドが使いにくい」を、「部屋が狭くてベッドが置けない」とした。
問37-1	—	選択肢「4. 子どもの家やその近所に転居したいと考えている」を、「子どもや親族の家に転居したいと考えている」とした。
	—	選択肢「5. 家賃（部屋代）が安い住宅に転居したいと考えている」を、「子どもや親族の家以外の住宅に転居したいと考えている」とした。
問39-2	—	設問文で、重度の障害者やひとり暮らしの高齢者という表現を、障害者や高齢者とした。
問42-1下 地域包括支援センターの所在地	—	所在地の標記の仕方を算用数字で表す形に統一した。

(2) 要支援・要介護認定者個別調査票（在宅）

設問番号	ご意見	修正内容
問3	—	選択肢「4. 子や孫、兄弟姉妹で65歳未満の親族と同居（「2」、「3」を除く）」から、一般高齢者個別調査票に合わせて、「（「2」、「3」を除く）」を削除した。
問7	—	一般高齢者個別調査票と同様に、かかりつけ医が「1. ある」と回答した方へ、どの医療機関をかかりつけ医と考えているかをたずねることにした。
問19	—	一般高齢者個別調査票と同様に、選択肢「1. 手すりが無く使いにくい」を、「必要なところに手すりが無い」とした。
	—	一般高齢者個別調査票と同様に、選択肢「2. トイレやお風呂が居室から離れている」を、「トイレや浴室が居室から離れている」とした。
	—	選択肢「6. 部屋が狭くてベッドが使いにくい」を、「部屋が狭くて介護用ベッドが置けない」とした。
問19-1	—	一般高齢者個別調査票と同様に、選択肢「4. 子どもの家やその近所に転居したいと考えている」を、「子どもや親族の家に転居したいと考えている」とした。
	—	一般高齢者個別調査票と同様に、選択肢「5. 家賃（部屋代）が安い住宅に転居したいと考えている」を、「子どもや親族の家以外の住宅に転居したいと考えている」とした。
問25	—	国が9月30日に提示した「在宅介護実態調査」の表現に合わせて、選択肢を並べ替えるとともに、「身体介護」〔生活援助〕〔その他〕の区分を設けた。
問29	—	選択肢「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」に、「（転職除く）」という言葉をつ補った。
問30の下の注釈	—	「パートタイム」の注釈について、「いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」など、呼び方は異なっても、この条件にあてはまる場合は「パートタイム」になります。」と説明文を改めた。

設問番号	ご意見	修正内容
問30-2	—	設問文で「どのようなことがあれば」を、「どのような支援等があれば」とした。
	—	選択肢「2. 休暇を取得しやすくなるような職場環境の改善」を、「休暇を取得しやすくなるような職場づくり」とした。
	—	選択肢「3. 労働時間や勤務形態を柔軟に選択できる職場環境（フレックスタイム制や在宅勤務など）」を新規追加した。
問31	—	国が9月30日に提示した「在宅介護実態調査」の表現に合わせて、選択肢を並べ替えるとともに、「身体介護」〔生活援助〕〔その他〕の区分を設けた。
問35	—	選択肢「7. テレビ（紙の広報番組）」で、誤字を修正し、（市の広報番組）とした。
問37	—	国が9月30日に提示した「在宅介護実態調査」において、入居・入所の検討状況の設問が重要である示唆があったことを受け、特別養護老人ホームに限定したたずね方をしていた設問文を、施設等の範囲を広げたたずね方に改めた。
問37-2	—	問37の変更により、特別養護老人ホームの入所の申し込みをしていない理由の設問から、申し込みをしている（申し込みをしたい）施設の設問へと改めた。
問44	—	介護サービスについて、医療機関（病院、診療所等）との連携の印象に関する設問を新規追加した。

（3）要支援・要介護認定者個別調査票（施設）

会議以降の主な変更点は、特になし。

(4) 介護サービス事業所調査票

※1 この調査は無記名でなく、雇用労働部門での活用も考えられるため、調査ご協力のお願いの4段落目へ、次の文章を追加した。

また、ご回答の内容について、本市の雇用労働行政の資料として活用するとともに、後日ご連絡をとらせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

※2 また、ご記入にあたってのお願いの3つ目の◇では、指定を受けているサービスについて今回の調査対象外サービスを明記した。

設問番号	ご意見	修正内容
問3	—	選択肢「8. 短期入所療養介護（老健）」、選択肢「9. 短期入所療養介護（病院等）」、選択肢「11. 夜間対応型訪問介護」といった、調査対象外サービスを、選択肢から削除した。
問4	—	選択肢「8. 短期入所療養介護（老健）」、選択肢「9. 短期入所療養介護（病院等）」、選択肢「11. 夜間対応型訪問介護」といった、調査対象外サービスを、選択肢から削除した。
問5	—	選択肢「8. 短期入所療養介護（老健）」、選択肢「9. 短期入所療養介護（病院等）」、選択肢「11. 夜間対応型訪問介護」といった、調査対象外サービスを、選択肢から削除した。